

問 放課後児童クラブの対象者について、国の方針が6年生まで拡大なら、今回の改正から出来ないのか。

答 池田町では、既に4年生まで独自に引き上げて行っているが、一学年増えた事による指導体制の整備や教室のスペースの問題もあるので段階的に引き上げ、今回は5年生までとしたい。

問 池田町ことばの教室について、現在揖斐川町からも通所しているが、今後の動向は。

答 揖斐川町は、本年10月には施設を稼働したいとの計画で現在手続き中であり、新たに希望する対象者より通所する予定で、現在揖斐川町から通所している子供達はそのまま池田町へ通所する。

問 公民館費の備品購入の内容と公民館のホームページへの取り組みは。

答 地区公民館のパソコン

は、旧式でありセキュリティの問題もあることから買い替えるものであり、ホームページについては、情報化の時代でもあり公民館利用促進の観点からも充実する必要がある。

問 医療費の高校生まで無料化の現状は。

答 月平均150万円の給付実績で、ほぼ予算通りで推移しており、高校生の場合は、スポーツによる怪我の通院が多いと考える。

問 南部公園の藤棚について、整備して休憩ができるようにしてはどうか。



藤棚を整備 (南部公園)

答 フジの木については、現在剪定中であり、藤棚の下については、大雨が降る度に冠水し荒廃するので、コンクリートを打つなど改善したい。

問 宮地小学校維持補修工事の場所は。

答 主に校舎内のカーペット貼り替え工事で、体育館の雨漏りについては、平成26年度塗装工事のなかで対処したい。

問 不妊治療費助成金の内容は。

答 一回の治療費が高額であることから県と町から補助金が交付される。今年度は15件の申請予定で、今後は男性の不妊治療も必要と考える。

問 義務教育支援のための教育センター活性化推進の内容は。

答 福祉教育導入や外国語への取り組み、地域との連携など小中学校の課題に取り組むために、新たに人材を確保し教育センター機能の充実を図るもの。

問 平成26年度当初予算の民生費は、本年度と比較して2億円増となったているが、その主な要因は。

答 少子高齢化などにより保健・福祉・医療費が増大したことによる。

問 介護保険について、給付費や保険料が高騰していることについて、どのように考えているのか。

答 郡内には介護保険施設が多くあり、利便性が良い反面、給付費は年間約60億円、保険料は県下で一番高く5,400円である。今後の推移を見守る中、検討していかなければならないが、国民健康保険事業について、現在、国において県下一本化の検討がされている中、介護保険も同様の考え方もある。

問 体育施設改修事業の内容は。

答 池田公園野球場バックネット修繕工事は、関係者の要望を聞くなか、基礎部分がコンクリートで出来ており、プレーする上で大変危険であるとの指摘があったので、高さ

1メートル、長さ22メートルのセーフティネットを付ける。多目的広場整備工事については、来年度グラウンドゴルフ大会があるので段差を解消するなどの整備をするもので、将来的にも引き続き多目的広場として利用していく。



バックネットのコンクリート部分を修繕 (池田公園野球場)

問 中学生の学校生活の状況は。

答 携帯電話、はじめ、不登校、怠学などの問題があり、学校としても積極的に取り組んでいるが、家庭や地域との連携も必要で、平成26年度は、体制を整え対策をとりたい。